

山行！

大菩薩山系(裂石～丸川峠～大菩薩峠～大菩薩嶺～丸川峠～裂石)

JE1PPG/石井

久々に山行した。

一泊、自炊で山小屋へ予約の電話をいれた。

(予約日)...

小屋主「天気悪いけど来るのか？」

私「小屋主の都合が悪いのなら山行やめるけど？」

小屋主「いや、私は山へ入って居るけど、天候不良でキャンセルばかりなんだよね。

本当に来るの？」

私「行きますよ！」

(当日・初日)

山行当日、やはり雨...雨

寝坊して予定していた行動がとれなくなったので乗車する電車もめちゃくちゃw
目的の駅について食材購入の予定だったが、それも不可能。しかたなく土産物店
で「鳥もつ煮」なるB級グルメを購入しバスへ飛び乗った。

バスは何事もなく登山口の裂石へ到着。(¥300) このバス停は「番屋茶屋」とい
うお店の御庭である。鍋焼饅頭を食べ、女将さんとしばらくお話しして雨中の出
発となる。ゴアの雨具に着替。

しばらく歩くと峠への分岐に到着する。この丸川峠分岐から丸川峠に至る登山道は、
大菩薩としては「登山道」であることを認識させるなかなかの急登コースなのだ。
いつものことであるが、昇り始めの30分は苦痛のあまり、自らの行動に疑問を抱く
時である。 — 中略 — ぐだぐだ登ってやっと丸川荘が見えたときは、安堵
のあまり小屋へ駆け込みたくなるが、体力的に不可能w
登っている最中にGGIが急登であることを私に必至で伝えようとしている。
わかるけど、わたしゃここを何度も登っている。
そういう登山者を萎えさせるようなことを力説すべきでは無いと思うのよね。
「GGI もう一回人生勉強しなおせ！」と心の中で悪態ついて再度登るのである。

小屋へ入り、小屋主の只木さんと一連の再開の儀式を終え、バックパックを寢室へ勝手に放り込むのである。（場所は私の勝手なのだw）

思った通り、本日の宿泊者はわたしだけ...

食事の支度を始めようとしたら只木さんが「御飯炊かなくていいよ！ おかずも準備しなくていいから！」だって！

どうやらカレーを試作していたらしいw

では、ということで自炊宿泊のくせに 100%お世話になってしまった。

美味しいカレーでした。 急なキャンセル客に対する予防策としてカレーを考案中とのことでした。 台風や嵐じゃあるまいに、少しの雨で山行を中止する登山客の多さが昨今山小屋を悩ませているようだ。 ヘリで荷揚げして冷蔵庫完備の山小屋ならいざしらず、すべて担ぎ上げの山小屋にとって少々の雨でキャンセルは致命傷だね。（三連休ということで荷揚げの量はたいへんなものだったようだ。）

二人で酒を酌み交わし、22 時迄話し合ったのさw

その時飲んだお酒は、お酒を飲まない常連の「まるみちゃん」が只木さんへ差し入れた美味しいお酒でした。

（翌朝・二日目）快晴！

小屋主ともども、ゆっくり寝ていたから、早朝のきれいな富士山をみることもなく前日の行動食の残りとお丸川荘名物の美味しいコーヒーで朝食とした。

小屋の蔵書を読みながら時間が経過していく.....

すこしお腹がすいてきた時に、只木さんから「介山荘のラーメン」の話があった。

そうか、「介山荘のラーメン」食べに行ってくるか.....そう、思ってしまった。

歩き出して 30 分は、いつもの懺悔の時間....でも、あるく...ひたすら歩く。

出発が遅かったのも、介山荘へ到着したのは、すでにおやつ時間に近かったw 噂のラーメンをいただき、速攻で丸川荘へ帰るわたしであった。

介山荘がある大菩薩峠からピークの大菩薩嶺までは、岩場を含む登山道である。途中で外人のおっちゃんに道を訊かれたりしながらピーク目指して帰路をあせる私であった。（日暮れは近いのだ）

その大菩薩嶺を越してまだ歩かなければ宿泊先の丸川荘へたどり着かないのだ。まあ、嶺から先は、下りだから大丈夫！ なんて思ったら大間違い。 距離があるんだよね。 大菩薩嶺を出発したのが 15:20。

丸川荘へ帰着したのが 16:50！ ぴったりのコースタイムでした。
ヘッドンを使うまでならなかったが、きわどい時間であった。

小屋へ帰ると予定どおり「大阪」からの常連の女性が到着していた。
まあ、山屋の呼吸というかなんというかあっという間に意気投合w

彼女は、小屋用意のカレーライスとサラダを食べて「美味しい！」の連呼。

私は、マジメに「炊飯+例の鳥もつ煮」で夕食とした。

御飯は、シェラカップ一杯のお米を炊いてみました、経験上これが夕飯と翌朝の御飯の量となるのです。

予定どおりでした。

持ち込んだお酒は一泊の予定だったので、昨晚に底をついた。今宵は、小屋準備のビールで我慢。

350ml 一缶で終了。（自分でも信じられない酒量だった）

広い就寝室は、真ん中のコタツ二つで南北に仕切られている、どうやら大阪から来た彼女は北側、私はいつもの南の角へ寝る事になるらしい。

おやすみなさい！

（早朝・三日目）

私的には、たいして早いとは言えないが、05:00 に目が覚めた。

外はまだ暗い。

赤富士をもとめてカメラ片手に外へでる。

05:45 に富士山の眺望に入り込む送電塔のフラッシュライトが点灯を始める。

邪魔な奴だと思う。

ここは、標高 1,700m

富士が目に見える良い場所だ。

人工衛星も見えるし、流星も見える。

峠でありながら地上の光に対する谷でもある。

希望の「赤富士」は撮影出来なかった。

なかなか北斎になることを自然は許してくれないようだw

さて、食材が乏しくなった私の持ち物.....

昨晚の残りの御飯をどうしたらよいか？

悩んでいる時に、大阪の彼女が「ぞうすいの素」というやつをくれたw

「渡りに船」「朝食に雑炊」ということでいただくことに。

今日の小屋ストーブの火付けは私の担当である。
極力少ない焚き付けで見事な火を起こすことを決意し成功したのだw
本人、大満足！

ストーブの火力で先程いただいた「雑炊の素」で朝食を作った。
美味しかった。
東大阪から来た常連の「柳田さん」ありがとう！

(帰路)

08:00 には、二人とも下山準備を終了し降下開始。
柳田さんが始めに下山しました。
私は、柳田さんにおくれること 40 分で下山開始。
柳田さんとは、登山口の「番屋茶屋」で再会するのですがw
二人して同じバスで塩山駅まで移動し、彼女をお見送りして 10 分後の高尾行き鈍行
で帰宅しました。

記載しておきたいことはまだある。
全てを書くのは不可能。
心に留め置くしかない。
目に焼き付けるしかない。
よい山行であった！

補足ですが.....w

一泊のつもりが二泊になり、携帯電波届かないから自宅に連絡しないまま二泊目を
迎えた！ さすが我が家族、一日ばかりの連絡不能では微動だにしなかったw。
でもね、わたし御嶽山へ毎年行っていたのね。我家族は肝が据わってるというか
なんていうかw ありがとう！

.....
Facebook の投稿(11月3日夜)を、原稿にいただきました。 JJ1SXA